

## 平成31年度版 改善計画

学校名：甲府西高等学校

No.	項目	現状と課題	H32年度に目指すべき状態	①H31年度に実施する内容 ②H32年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・ 会議資料等の作成負担 ・ 会議の長時間化	・ ICTを活用した会議 ・ 会議進行の効率化	①運営委員会を中心に会議のペーパーレス化を更に進める。 ②グループチャットアプリを活用し、会議の短時間化を図る。	A
2	学校行事の負担軽減	・ 行事準備への負担増 ・ 授業準備時間確保への影響	・ 行事の目的の明確化 ・ 進め方の簡素化	①委員会中心の行事運営を進め、各分掌の業務を削減する。 ②各分掌の過重負担となっている業務を洗い出し、負担軽減を図る人材配置を行う。	C
3	校内組織の見直し	・ 委員会数の多さ ・ 業務量の偏り	・ 業務内容の明確化 ・ 業務の適正分担	①各委員会の目的をふまえて組織を見直すとともに、実施回数 の削減等を図る。 ②行事に関する職員アンケートを行い、行事の精選を行う。	B
4	業務の効率化	・ 資料作成時間増の慢性化 ・ 業務遂行の長時間化	・ ICT活用による書類減 ・ 業務遂行の短時間化	①各教科、分掌等で資料のデータベース化を進める。 ②ネットを利用したアンケート集計や小テスト自動採点システム の導入を検討する。	B
5	部活動の負担軽減	・ 部休日設定の困難さ ・ 一教諭が複数の部を担当	・ 部休日の適正配置 ・ 外部指導者の活用	①きずなの日を設定し、学校の部活動方針に従う活動とする。 ②外部指導者の積極的活用を図る。	B
6	地域人材の活用	・ 行事などへの協力依頼によ る業務負担増	・ 外部機関との連携 ・ 事務作業の簡素化	①諸資料の作成を外部へ依頼するなど、作成の負担軽減を図る。 ②業務作業をデータベース化することで効率化を進める。	C
7	学習へのICTの活用	・ 教材の作成や印刷に係る業 務負担増	・ 教材印刷の負担軽減 ・ 教材作成の負担軽減	①学習教材のネット利用や配信を進める。 ②学習アプリの効果的活用の研究を進める。	C
8	組織的な指導	・ 指導の多様化による負担増	・ チームとしての対応 ・ 情報共有と協働化	①必要な情報の共有化を進め、問題の早期解決を目指す。 ②外部機関との連携をさらに進めていく。	B

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。